

ご挨拶 ～次の100年に向けて～

本校は大正10(1921)年に羽島郡実科高等女学校として開校し、昭和23(1948)年の学制改革により現在の男女共学の羽島高等学校となり、一昨年度、記念すべき100周年を迎えた県内有数の歴史と伝統のある学校です。また、羽島市内唯一の県立高等学校として、県内はもとより全国に立派な多くの卒業生を輩出してきました。令和5年1月にはモダンな新校舎と明るく開放的な中庭が完成し、10月には100周年の記念式典を行う予定にしております。

本校では、これまでも「地域の学校」として、「竹鼻まつり」での山車の引き手、「竹鼻ふじまつり」での演奏会、「ぎふ羽島駅前フェス」等、旧「なますまつり」の時代から、様々な地域行事に参加させていただいております。また、Sクラブや吹奏楽部による幼稚園、小学校や福祉施設との交流活動等では、地域の皆様と学校が一体となって、生徒を育てていただいております。

本校は「立志 好学 節度 勇健 創造」を校訓とし、また、校章は輝く翼をモチーフとしており、校歌にもあるように、卒業生が世界に大きく羽ばたいて、社会に貢献する人材になって欲しいとの願いを込めています。予測の難しい未来においても、夢を持って、たくましく生き抜いていく人材の育成を目指し、今後も生徒一人一人を大切にしながら、職員一丸となって、学校改革、授業改善に取り組んで参ります。

何卒、本校に対する皆様のより一層のご理解とご支援をお願いいたします。



令和5年4月
岐阜県立羽島高等学校
校長 下野 宗紀